

SYSTEM AND METHOD FOR EVALUATING WEB SITE AND RECORDING MEDIUM

Publication number: JP2002123516

Publication date: 2002-04-26

Inventor: KATO HIROKI; NAKAYAMA TAKEHIRO; YAMANE YOHEI

Applicant: FUJI XEROX CO LTD

Classification:

- international: G06Q50/00; G06F17/30; G06Q50/00; G06F17/30;
(IPC1-7): G06F17/30; G06F17/60

- European:

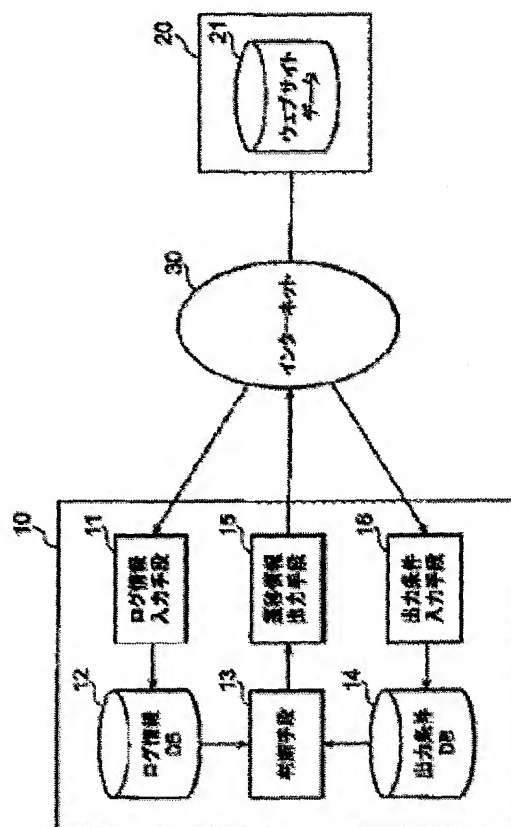
Application number: JP20000312340 20001012

Priority number(s): JP20000312340 20001012

Report a data error here

Abstract of JP2002123516

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a web site evaluation system which can grasp trends of web page movement of a user who accesses a web site and research whether or not the user moves as the web site creator intends. **SOLUTION:** This web site evaluation system 10 is equipped with a log information input means 11 which inputs the history of access to a web page as log information, an output condition DB 14 which stores output conditions of output of movement information on respective web pages, a judging means 13 which finds the movement history of each web page according to the log information inputted by the log information input means 11 and judges whether or not the movement information is outputted according to the found movement history and the output conditions stored in the output condition DB 14, and a movement information output means 15 which outputs the movement information when the judging means judges that the movement information is outputted.



Data supplied from the *esp@cenet* database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-123516
(P2002-123516A)

(43) 公開日 平成14年4月26日 (2002. 4. 26)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
G 0 6 F 17/30	1 3 0	G 0 6 F 17/30	1 3 0 A 5 B 0 4 9
	4 1 9		4 1 9 B 5 B 0 7 5
17/60	1 5 0	17/60	1 5 0

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2000-312340 (P2000-312340)

(22) 出願日 平成12年10月12日 (2000. 10. 12)

(71) 出願人 000005496

富士ゼロックス株式会社
東京都港区赤坂二丁目17番22号

(72) 発明者 加藤 裕樹

神奈川県足柄上郡中井町境430グリーンテ
クなかい 富士ゼロックス株式会社内

(72) 発明者 中山 雄大

神奈川県足柄上郡中井町境430グリーンテ
クなかい 富士ゼロックス株式会社内

(74) 代理人 100088155

弁理士 長谷川 芳樹 (外1名)

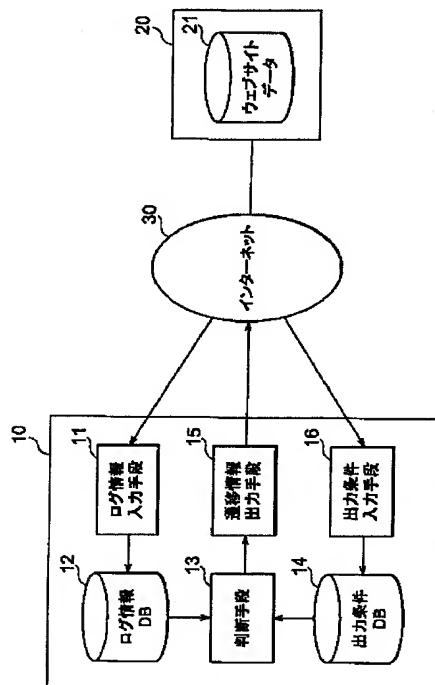
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ウェブサイト評価システム、ウェブサイト評価方法、記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 ウェブサイトにアクセスするユーザのウェブページ遷移の傾向を把握し、ウェブサイト製作者の意図する遷移がなされているかを調査できるウェブサイト評価システムを提供する。

【解決手段】 本発明に係るウェブサイト評価システム10は、ウェブページへのアクセス履歴をログ情報として入力するログ情報入力手段11と、各ウェブページの遷移に関する遷移情報を出力する出力条件を格納する出力条件DB14と、ログ情報入力手段11によって入力されたログ情報に基づいて各ウェブページの遷移履歴を求め、求められた遷移履歴と出力条件DB14に格納された出力条件とに基づいて、遷移情報を出力するか否かを判断する判断手段13と、判断手段によって遷移情報を出力すると判断された場合に、遷移情報を出力する遷移情報出力手段15とを備える。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数のウェブページから構成されるウェブサイトを評価するウェブサイト評価システムであって、

前記各ウェブページへのアクセス履歴をログ情報として入力するログ情報入力手段と、

前記各ウェブページの遷移に関する遷移情報を出力する出力条件を格納する出力条件格納手段と、

前記ログ情報入力手段によって入力されたログ情報に基づいて前記各ウェブページの遷移履歴を求め、求められた前記遷移履歴と前記出力条件格納手段に格納された出力条件とに基づいて、前記遷移情報を出力するかどうかを判断する判断手段と、

前記判断手段によって前記遷移情報を出力すると判断された場合に、前記遷移情報を出力する遷移情報出力手段と、

を備えることを特徴とするウェブサイト評価システム。

【請求項2】 前記出力条件格納手段に格納された出力条件は、あらかじめ定められた前記各ウェブページの遷移を基準遷移とした場合に、前記基準遷移と前記遷移履歴との乖離率によって規定されることを特徴とする請求項1に記載のウェブサイト評価システム。

【請求項3】 複数のウェブページから構成されるウェブサイトを評価するウェブサイト評価方法であって、前記各ウェブページへのアクセス履歴をログ情報として入力するログ情報入力ステップと、前記各ウェブページの遷移に関する遷移情報を出力する出力条件を出力条件格納手段に格納する出力条件格納ステップと、

前記ログ情報入力ステップにおいて入力されたログ情報に基づいて前記各ウェブページの遷移履歴を求め、求められた前記遷移履歴と前記出力条件格納手段に格納された出力条件とに基づいて、前記遷移情報を出力するかどうかを判断する判断ステップと、

前記判断ステップにおいて前記遷移情報を出力すると判断された場合に、前記遷移情報を出力する遷移情報出力ステップと、

を備えることを特徴とするウェブサイト評価方法。

【請求項4】 前記出力条件格納手段に格納される出力条件は、あらかじめ定められた前記各ウェブページの遷移を基準遷移とした場合に、前記基準遷移と前記遷移履歴との乖離率によって規定されることを特徴とする請求項3に記載のウェブサイト評価方法。

【請求項5】 複数のウェブページから構成されるウェブサイトを評価する処理を記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、

前記各ウェブページへのアクセス履歴をログ情報として入力するログ情報入力処理と、

前記各ウェブページの遷移に関する遷移情報を出力する出力条件を格納する出力条件格納処理と、

前記ログ情報入力処理において入力されたログ情報に基づいて前記各ウェブページの遷移履歴を求め、求められた前記遷移履歴と前記出力条件格納処理において格納された出力条件とに基づいて、前記遷移情報を出力するかどうかを判断する判断処理と、

前記判断処理において前記遷移情報を出力すると判断された場合に、前記遷移情報を出力する遷移情報出力処理と、

をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録していることを特徴とする記録媒体。

【請求項6】 前記出力条件格納処理において格納される出力条件は、あらかじめ定められた前記各ウェブページの遷移を基準遷移とした場合に、前記基準遷移と前記遷移履歴との乖離率によって規定されることを特徴とする請求項5に記載の記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、複数のウェブページからなるウェブサイトを評価するウェブサイト評価システム、ウェブサイト評価方法、及びこれらの処理を記録した記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】ウェブサイトを評価する指標の一つとして、ウェブサイトを構成するウェブページへのアクセス数が挙げられる。そして、ウェブページへのアクセス数をカウントする方式が従来から知られていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記のウェブページへのアクセス数をカウントする方式では、各ウェブページに対する総アクセス数を把握することはできないもの、ユーザが各ウェブページをどのように移動するかの傾向、すなわち、ウェブページ遷移の傾向を取得することができない。このため、各ウェブページ間の結びつきの強さを調査することや、ウェブサイト作成者の意図するウェブページ遷移と実際のユーザのウェブページ遷移とが、どの程度乖離しているかを調査することができなかった。

【0004】そこで、本発明は上記課題を解決し、ウェブサイトにアクセスするユーザのウェブページ遷移の傾向を把握し、ウェブサイト作成者の意図する遷移がなされているかを調査できるウェブサイト評価システム、ウェブサイト評価方法、及びこれらの処理を記録した記録媒体を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明に係るウェブサイト評価システムは、複数のウェブページから構成されるウェブサイトを評価するウェブサイト評価システムであって、各ウェブページへのアクセス履歴をログ情報として入力するログ情報入力手段と、各ウェブページの遷移に関する遷移情報を出力する出力条件を格納する出力条

件格納手段と、ログ情報入力手段によって入力されたログ情報に基づいて各ウェブページの遷移履歴を求め、求められた遷移履歴と出力条件格納手段に格納された出力条件とに基づいて、遷移情報を出力するか否かを判断する判断手段と、判断手段によって遷移情報を出力すると判断された場合に、遷移情報を出力する遷移情報出力手段とを備えることを特徴とする。

【0006】本発明によれば、ログ情報入力手段によって、ウェブサイトを構成する各ウェブページへのアクセス履歴をログ情報として入力し、判断手段は入力されたログ情報に基づいて、各ウェブページの遷移履歴を求め、求められた遷移履歴と出力条件格納手段に格納された出力条件とに基づいて、判断手段は遷移情報を出力するか否かを判断する。このように、ウェブページの遷移履歴に基づいて遷移情報を出力することによって、ウェブサイトにアクセスしたユーザが、出力条件に合致するようなウェブページ遷移をした場合に遷移情報を出力することができる。

【0007】また、上記ウェブサイト評価システムにおいて、出力条件格納手段に格納された出力条件は、あらかじめ定められた各ウェブページの遷移を基準遷移とした場合に、基準遷移と遷移履歴との乖離率によって規定されることを特徴としても良い。

【0008】このように基準遷移と遷移履歴との乖離率に基づいて遷移情報を出力する出力条件を規定することとすれば、求められた遷移履歴が基準遷移と大きく離れる場合に、遷移情報を出力させることができる。また、遷移履歴と基準遷移との合致率が高い場合にも遷移情報を出力させることができる。

【0009】本発明に係るウェブサイト評価方法は、複数のウェブページから構成されるウェブサイトを評価するウェブサイト評価方法であって、各ウェブページへのアクセス履歴をログ情報として入力するログ情報入力ステップと、各ウェブページの遷移に関する遷移情報を出力する出力条件を出力条件格納手段に格納する出力条件格納ステップと、ログ情報入力ステップにおいて入力されたログ情報に基づいて各ウェブページの遷移履歴を求め、求められた遷移履歴と出力条件格納手段に格納された出力条件とに基づいて、遷移情報を出力するか否かを判断する判断ステップと、判断ステップにおいて遷移情報を出力すると判断された場合に、遷移情報を出力する遷移情報出力ステップとを備えることを特徴とする。

【0010】本発明によれば、ログ情報入力ステップにおいて、ウェブサイトを構成する各ウェブページへのアクセス履歴をログ情報として入力し、判断ステップは入力されたログ情報に基づいて、各ウェブページの遷移履歴を求め、さらに判断ステップにおいて、求められた遷移履歴と出力条件格納手段に格納された出力条件とに基づいて、遷移情報を出力するか否かを判断する。このように、ウェブページの遷移履歴に基づいて遷移情報を

出力することによって、ウェブサイトにアクセスしたユーザが、出力条件に合致するようなウェブページ遷移をした場合に遷移情報を出力することができる。

【0011】上記ウェブサイト評価方法において、出力条件格納手段に格納される出力条件は、あらかじめ定められた各ウェブページの遷移を基準遷移とした場合に、基準遷移と遷移履歴との乖離率によって規定されることを特徴としても良い。

【0012】このように基準遷移と遷移履歴との乖離率に基づいて遷移情報を出力する出力条件を規定することとすれば、求められた遷移履歴が基準遷移と大きく離れる場合に、遷移情報を出力させることができる。また、遷移履歴と基準遷移との合致率が高い場合にも遷移情報を出力させることができる。

【0013】本発明に係る記録媒体は、複数のウェブページから構成されるウェブサイトを評価する処理を記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、各ウェブページへのアクセス履歴をログ情報として入力するログ情報入力処理と、各ウェブページの遷移に関する遷移情報を出力する出力条件を格納する出力条件格納処理と、ログ情報入力処理において入力されたログ情報に基づいて各ウェブページの遷移履歴を求め、求められた遷移履歴と出力条件格納処理において格納された出力条件とに基づいて、遷移情報を出力するか否かを判断する判断処理と、判断処理において遷移情報を出力すると判断された場合に、遷移情報を出力する遷移情報出力処理とをコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したことを特徴とする。

【0014】本発明に係る記録媒体に記録されたプログラムによれば、ログ情報入力処理によって、ウェブサイトを構成する各ウェブページへのアクセス履歴をログ情報として入力し、判断処理は入力されたログ情報に基づいて、各ウェブページの遷移履歴を求め、求められた遷移履歴と出力条件格納処理において格納された出力条件とに基づいて、判断処理は遷移情報を出力するか否かを判断する。このように、ウェブページの遷移履歴に基づいて遷移情報を出力することによって、ウェブサイトにアクセスしたユーザが、出力条件に合致するようなウェブページ遷移をした場合に遷移情報を出力することができる。

【0015】また、上記記録媒体は、出力条件格納処理において格納される出力条件は、あらかじめ定められた各ウェブページの遷移を基準遷移とした場合に、基準遷移と遷移履歴との乖離率によって規定されることを特徴としても良い。

【0016】このように基準遷移と遷移履歴との乖離率に基づいて遷移情報を出力する出力条件を規定することとすれば、求められた遷移履歴が基準遷移と大きく離れる場合に遷移情報を出力させることができる。また、遷移履歴と基準遷移との合致率が高い場合にも遷移情報を

出力させることができる。

【0017】

【発明の実施の形態】以下、図面と共に本発明に係るウェブサイト評価システムの好適な実施形態について詳細に説明する。なお、図面の説明においては同一要素には同一符号を付し、重複する説明を省略する。

【0018】図1は、実施形態に係るウェブサイト評価システム10の構成を示すブロック図である。ウェブサイト評価システム10は、インターネット30に接続されており、評価対象となるウェブサイト（ウェブ）
10 端末20との間で、ログ情報や遷移情報等のデータを送受信することができる。なお、ウェブ端末20は、ウェブサイトについてのデータを有し、インターネット30上でウェブサイトを提供する端末である。

【0019】ウェブサイト評価システム10は、ログ情報が格納されるログ情報格納データベース（以下、「ログ情報DB」という）12と、ウェブ端末20から送信されたログ情報をログ情報DB12に入力して格納するログ情報入力手段11と、遷移情報を出力する出力条件
20 を格納する出力条件データベース（以下、「出力条件DB」という）14と、遷移情報を出力するかどうかを判断する判断手段13と、遷移情報を出力する遷移情報出力手段15とを有している。また、ウェブサイト評価システム10は、出力条件DB14に格納される出力条件を入力する出力条件入力手段16を有している。

【0020】次に、ウェブサイト評価システム10が有するデータベースについて説明する。

【0021】ログ情報DB12は、評価対象となるウェブサイトへのアクセス履歴をログ情報として格納している。図2は、ログ情報DB12に格納されたデータの例
30 を示す図である。ログ情報は、「サイトID」「アクセスユーザ名」「アクセス時刻」「アクセスページ」の各項目についての情報を有している。「サイトID」は、評価対象とあるウェブサイトを特定するために、ウェブサイト評価システム10によって付与される識別番号である。図2に示す例では、サイトID:1001のウェブサイトへのアクセス履歴が格納されている。「アクセスユーザ名」は、当該ウェブサイト
40 にアクセスしたユーザを識別するための情報である。アクセスユーザ名は、アクセスしたユーザを特定することができれば、必ずしもユーザ名でなくとも良く、例えば、ユーザのインターネットアドレス等でも良い。「アクセス時刻」は、ウェブサイトを構成する各ウェブページにアクセスのあった時刻を表す情報である。「アクセスページ」は、当該サイトIDによって特定されるウェブサイト（この場合は、サイトID:1001）を構成するどのウェブページにアクセスしたかを表す情報である。

【0022】出力条件DB14は、各ウェブサイトごとにウェブページの遷移に関する遷移情報の出力が必要な条件を格納している。図3は、出力条件DB14に格納
50

された情報を示す図である。出力条件DB14は、「サイトID」「サイト名」「URL」「出力先」「出力条件」の各項目を有している。「サイトID」は、上記で説明したサイトIDと同様に、ウェブサイトを特定するための識別番号である。「サイト名」は、当該サイトIDによって特定されるウェブサイトの名称である。「URL」は、当該ウェブサイトのURLを表す情報である。「出力先」は、ウェブページに関する遷移情報を出力する先のアドレスである。通常は、このアドレスはインターネット30アドレスである。「出力条件」は、ウェブサイト内のウェブページ遷移に関して出力を必要とする場合を表す条件である。例えば、サイトID:1001の自動車販売のウェブサイトでは、ページAからページCに遷移するパターンが、ページAからページBを介してページCに遷移するパターンより多い場合に、遷移情報を出力することとなっている。この出力条件は、ウェブサイト作成者の意図するウェブページ遷移（基準遷移）に対する乖離率によって規定することもできる。例えば、自動車販売サイトにおいて、「自動車Aの特徴」（第1ページ）、「自動車Aに関するプレゼントキャンペーン」（第2ページ）、「自動車Aの資料請求」（第3ページ）という順に、ウェブページが遷移することが基準遷移である場合に、第1ページにアクセスしたユーザ数に対して、基準遷移に従って第3ページに移動しなかったユーザ数の割合を「乖離率」とし、この乖離率が所定の値より大きくなった場合に、遷移情報を出力させる条件とすることができる。このような条件によって遷移情報を出力させることによって、ユーザに資料請求を行ってもらうのにプレゼントキャンペーンが効果を
あけているかどうか監視することができる。なお、出力条件は、ウェブ端末20から送信され、出力条件入力手段16によって出力条件DB14に格納されることが好ましい。

【0023】次に、ウェブサイト評価システム10を構成する要素について説明する。

【0024】ログ情報入力手段11は、ウェブ端末20から送信されたログ情報をログ情報DB12に入力する機能を有する。

【0025】判断手段13は、ログ情報DB12に格納されたログ情報に基づいて、評価対象となるウェブページの遷移履歴を求め、求められた遷移履歴と出力条件DB14に格納された出力条件とに基づいて、遷移情報を出力するか否かの判断をする機能を有する。

【0026】遷移情報出力手段15は、判断手段13によって遷移情報を出力すると判断された場合に、ウェブ端末20に遷移情報を出力する機能を有する。

【0027】次に、本実施形態に係るウェブサイト評価システム10の動作について説明し、併せて、本発明の実施形態に係るウェブサイト評価方法について説明する。

【0028】まず、評価対象となるウェブサイト有するウェブ端末20は、ウェブサイト評価システム10にインターネット30を通じて遷移情報の出力条件を送信する(S10)。ウェブサイト評価システム10は、ウェブ端末20から送信された出力条件を受信し、受信した出力条件を出力条件入力手段16によって出力条件DB14に格納する(S12)。出力条件入力手段16は、インターネット30を通じて受信した出力条件のほか、キーボード56等から直接入力された出力条件を出力条件DB14に格納することとしても良い。

【0029】次に、ウェブ端末20はウェブサイトへのアクセス履歴をログ情報として、ウェブサイト評価システム10に送信する(S14)。この際に、ウェブ端末20から送信されるログ情報は、所定の期間内に蓄積されたログ情報である。「所定の期間」を短縮することによって、ウェブサイトの評価をリアルタイムなものに近づけることができる。ウェブサイト評価システム10は、ウェブ端末20から送信されたログ情報を受信し、受信したログ情報をログ情報入力手段11によってログ情報DB12に格納する(S16)。

【0030】続いて、ウェブサイト評価システム10の判断手段13は、ログ情報DB12に格納されたログ情報を解析し、当該ウェブサイトへのアクセス履歴から、各ウェブページの遷移を求める(S18)。この点について、図2に示すログ情報を例として具体的に説明する。まず、ユーザ1について見てみると、ユーザ1は時刻20:30:34にAページにアクセスし、時刻20:31:24にCページにアクセスしている。つまり、ユーザ1はページAからページCへと移動していることがわかる。同様に、ユーザ2については、ページAからページBを経由してページCに移動していることがわかる。このようにして、ウェブサイトアクセスしたすべてのユーザのアクセス履歴を解析することによって、ページAからページBを経由してページCに移動したユーザの数、ページAからページCに移動したユーザの数を求めることができる。

【0031】次に、判断手段13は、上記の過程によって解析された結果と出力条件とを比較して、ウェブサイト遷移情報を出力するか判断する(S20)。図3に示す出力条件DB14によれば、サイトID:1001のウェブ端末20に遷移情報を出力する条件は、ページAからページCに移動するユーザの数が、ページBを経由してページAからページCに移動するユーザの数より多い場合である。この判断の結果、出力条件に合致する場合には、判断手段13は遷移情報出力手段15に遷移情報の出力命令を送信する。遷移情報出力手段15は、遷移情報の出力命令を受信すると、評価対象となっているウェブサイト有するウェブ端末20に対して遷移情報を送信する(S22)。この際、遷移情報は、出力条件DB14(図3参照)に格納された「出力先」に送信

される。一方、判断の結果、出力条件に合致しない場合には、ログ情報の取得前のステップに移行する(S12とS16の間)。

【0032】次に、ウェブ端末20は、ウェブサイト評価システム10から送信された遷移情報を受信する(S24)。これにより、ウェブサイト評価システム10の動作は完了する。

【0033】次に、本実施形態に係るウェブサイト評価システム10の効果について説明する。ウェブサイト評価システム10は、ウェブ端末20から送信されたログ情報に基づいてウェブページの遷移履歴を求め、求められた遷移履歴と出力条件DB14に格納された出力条件とに基づいて遷移情報を出力するか否かを判断しているので、ウェブサイト内のウェブページの遷移履歴が所定の条件を満たす場合に、ウェブ端末20に出力することができる。これにより、ウェブ端末20は、ウェブサイトにアクセスしたユーザが各ウェブページをどのように移動したかの情報を得ることができる。そして、このウェブページの遷移情報は、ウェブサイトを構成する各ウェブページ間の結びつきを知る上で重要な手がかりとなる。例えば、スキップされることの多いページは、前後のページとの結びつきが弱い、あるいはユーザにとって必要性の低いページであることがわかる。また、ウェブページ遷移の流れが一変する場合に遷移情報を出力するように出力条件を設定すれば、インパクトの強い新しい新商品やバナーが入ったこと知る手がかりとすることができる。

【0034】また、本発明によれば、遷移情報の出力条件を基準遷移と遷移履歴との乖離率によって規定することによって、基準遷移と遷移履歴との乖離率が大きい場合、又は小さい場合にウェブ端末20に遷移情報を送信することができ、ウェブページの作成者の意図した遷移(基準遷移)の通りにユーザが遷移しているかを調査することができる。そして、この乖離率に基づいてウェブページの評価をすることができる。

【0035】次に、図5～図7を参照して、上記したウェブサイト評価方法を実現可能な、コンピュータ読取り可能な記録媒体(以下、「記録媒体」という)40について説明する。ここで、記録媒体40とは、プログラムの記述内容に応じて磁気、光、電気等のエネルギーを変化させ、その変化に対応する信号の形式でコンピュータ50のハードウェア資源に備えられている読取装置51にプログラムの記述内容を伝達できるものである。このような記録媒体40としては、例えば、磁気ディスク、光ディスク、CD-ROM、コンピュータ50に内蔵されるメモリ53等が該当する。

【0036】図5は、本実施形態の記録媒体40の構成図である。記録媒体40には、プログラムを記録したプログラム領域40aとデータファイルを格納したデータ領域40bとが設けられている。

【0037】データ領域40bは、ログ情報45及び出力条件情報46を格納することができる領域を有している。これらの領域には、それぞれ図1に示すログ情報DB12に格納されたログ情報DB12及び出力条件DB14に格納された出力条件と同様のデータが格納される。

【0038】プログラム領域40aには、ログ情報を入力させると共に入力されたログ情報をデータ領域40bに格納するためのログ情報入力モジュール41と、出力条件を入力させると共に入力された出力条件をデータ領域に格納するための出力条件入力モジュール42と、データ領域40bに格納されたログ情報45及び出力条件情報46に基づいて、遷移情報を出力するか否かの判断をする判断モジュール43と、遷移情報を出力する遷移情報出力モジュール44とが含まれている。

【0039】ここで、ログ情報入力モジュール41及び出力条件入力モジュール42を動作させることによって実現する機能は、それぞれ図1に示したログ情報入力手段11及び出力条件入力手段16の機能と同様である。また、判断モジュール43を動作させることによって実現する機能は、図1に示した判断手段13の機能と同様である。遷移情報出力モジュール44を動作させることによって実現する機能は、図1に示した遷移情報出力手段15の機能と同様である。

【0040】図6は、記録媒体40に記録されたプログラムを実行するためのコンピュータ50のハードウェア構成を示す図であり、図7は、記録媒体40に記録されたプログラムを実行するためのコンピュータ50の斜視図である。各図に示すように、コンピュータ50は、フレキシブルドライブ装置、CD-ROMドライブ装置、磁気テープドライブ装置等の読み取り装置51と、オペレーティングシステム(OS)を常駐させた作業用メモリ52(RAM)と、記録媒体40に記録されたアクセスログ情報及びコンテンツ情報を記憶するためのメモリ53と、表示手段であるディスプレイ54と、入力手段であるマウス55及びキーボード56と、作成したウェブページを印刷出力するプリンタ57と、プログラムの実行を制御するCPU58と、を備えている。ここで、記録媒体40が読み取り装置に挿入されると、記録媒体40に記録された情報が読み取り装置51からアクセス可能になり、記録媒体40のプログラム領域に記録されたプログラムが、コンピュータ50によって実行可能となる。

【0041】本実施形態に係る記録媒体40によれば、コンピュータ50は、ログ情報(ウェブサイトへのアクセス履歴)45と出力条件情報46とに基づいて、遷移情報を出力することができる。この出力結果を参照することにより、ウェブサイトの作成者は、ユーザがウェブサイト内のページをどのように移動するかを知ることができ、ウェブサイトの評価をすることができる。

【0042】以上、本発明の実施形態について詳細に説明してきたが、本発明は上記実施形態に限定されるものではない。

【0043】上記実施形態に係るウェブサイト評価システム10では、ウェブサイト有するウェブ端末20とは異なる端末にウェブサイト評価システム10を構築し、当該ウェブ端末20とインターネット30によって接続することとしているが、ウェブサイト評価システム10は、評価対象となるウェブサイト有するウェブ端末20に構築することとしても良い。このような構成を採用すれば、インターネット30を通じてログ情報を送信する必要がなく、ウェブ端末20に蓄積されたログ情報をすれば良いので、リアルタイムでウェブページの遷移情報を得ることができる。

【0044】また、出力条件の設定を行う端末、遷移情報通知先端末は、インターネット30に接続され、かつ、あらかじめ指定された端末であれば、ウェブサイト有する端末20と同一の端末である必要はない。

【0045】

【発明の効果】本発明によれば、ログ情報入力手段によって各ウェブページへのアクセス履歴をログ情報として入力し、判断手段は入力されたログ情報に基づいて、各ウェブページの遷移履歴を求め、求められた遷移履歴と出力条件格納手段に格納された遷移情報を出力する出力条件とに基づいて、判断手段は遷移情報を出力するか否かを判断するので、ウェブサイトにアクセスしたユーザが、出力条件に合致するようなウェブページ遷移をした場合に遷移情報を出力することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施形態に係るウェブサイト評価システムを示すブロック図である。

【図2】ログ情報DBに格納されたデータの例を示す図である。

【図3】出力条件DBに格納されたデータの例を示す図である。

【図4】実施形態に係るウェブサイト評価システムの動作を示すフローチャートである。

【図5】実施形態に係るコンピュータ読み取り可能な記録媒体を示す構成図である。

【図6】記録媒体に記録されたプログラムを実行するためのコンピュータのハードウェア構成を示す図である。

【図7】記録媒体に記録されたプログラムを実行するためのコンピュータの斜視図である。

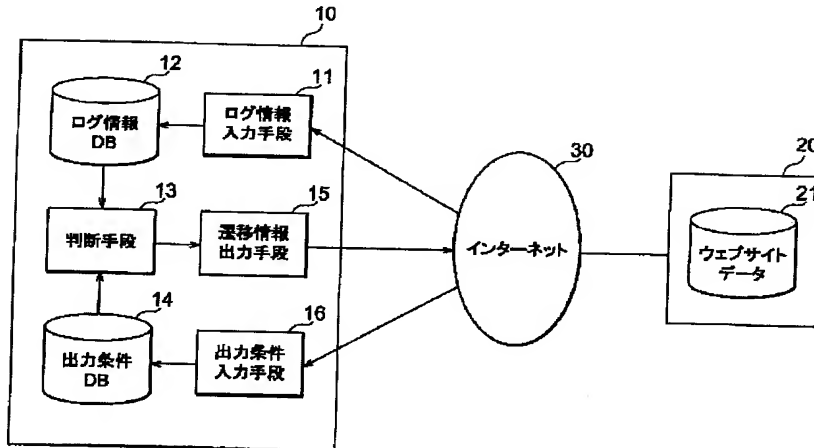
【符号の説明】

10…ウェブサイト評価システム、11…ログ情報入力手段、12…ログ情報データベース、13…判断手段、14…出力条件データベース、15…遷移情報出力手段、16…出力条件入力手段、20…ウェブ端末、21…ウェブサイトデータ、30…インターネット、40…記録媒体、41…ログ情報入力モジュール

11
 ル、42…出力条件入力モジュール、43…判断モジュール、44…遷移情報出力モジュール、50…コンピュータ、51…読取装置、52…作業用メモリ、5*

12
 *3…メモリ、54…ディスプレイ、55…マウス、56…キーボード、57…プリンタ、58…CPU。

【図1】



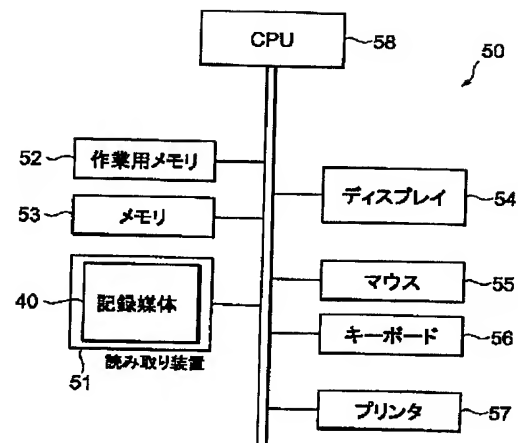
【図2】

サイトID	アクセスユーザ名	アクセス時刻	アクセスページ
1001	ユーザ4	2000/10/1 20:30:00	C
	ユーザ2	2000/10/1 20:30:12	A
	ユーザ1	2000/10/1 20:30:34	A
	ユーザ1	2000/10/1 20:31:24	C
	ユーザ2	2000/10/1 20:32:13	B
	ユーザ5	2000/10/1 20:32:55	A
	ユーザ3	2000/10/1 20:33:00	C
	ユーザ2	2000/10/1 20:33:14	C
	ユーザ6	2000/10/1 20:33:45	A
	ユーザ3	2000/10/1 20:34:12	C
	ユーザ6	2000/10/1 20:35:11	B
	⋮	⋮	⋮
	ユーザ55	2000/10/1 22:34:05	A
	ユーザ57	2000/10/1 22:34:34	A
	ユーザ58	2000/10/1 22:35:45	C
	ユーザ57	2000/10/1 22:36:58	C
⋮	⋮	⋮	⋮

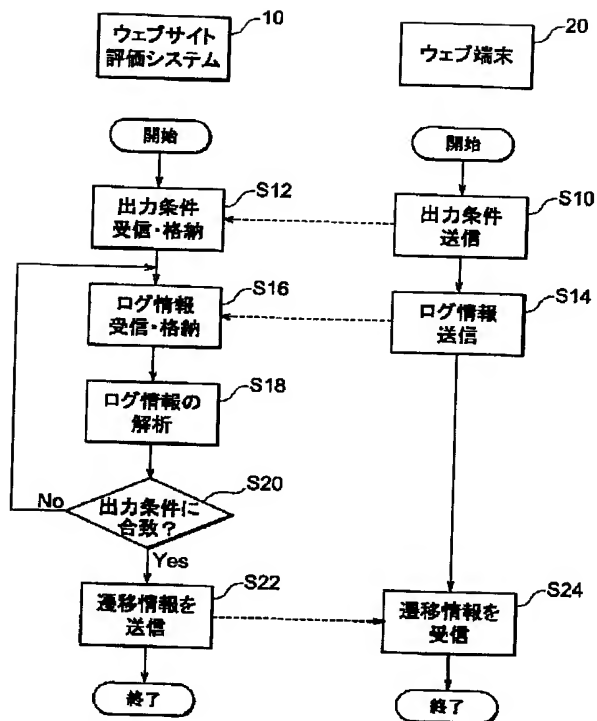
【図3】

サイトID	サイト名	URL	出力先	出力条件
1001	自動車販売	www.aaa...	aaa@auto...	(ページA→ページC) > (ページA→ページB→ページC)
1002	レストラン紹介	www.bbb...	bbb@rest...	(ページD→ページE以外) > (ページD→ページE)
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

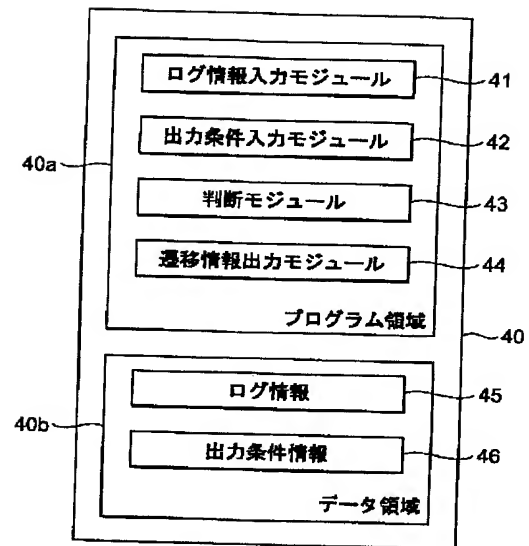
【図6】



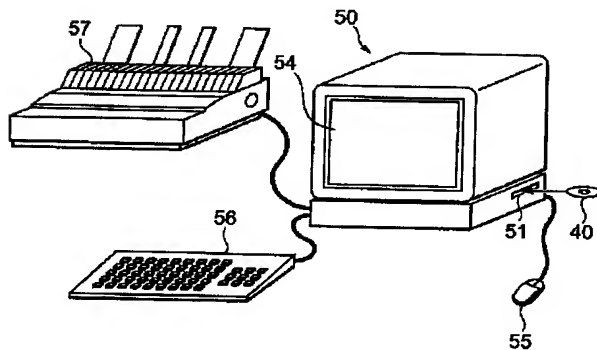
【図4】



【図5】



【図7】



フロントページの続き

(72)発明者 山根 洋平
 神奈川県足柄上郡中井町境430グリーンテ
 クなかい 富士ゼロックス株式会社内

Fターム(参考) 5B049 CC00 EE05 FF01 GG02 GG09
 5B075 ND36 PR03